

我が街の活動紹介

● 順不同 ●

安心して住める街をめざして

藤塚新田地区

地区長

石川 幸三郎



私達の住む、藤塚新田地区は県道春日部松伏線沿いの西側に位置し、北はホームック春日部店、南はカスミストアー藤塚店、西の端に古利根川が流れる静かな住宅地で、世帯数三百九十三世帯、人口約二二〇〇人で地区が形成されております。

昔は二八世帯の開散とした農村地帯で、鍛冶屋さんや何軒があり、昭和四十年末頃までは野兔の姿も時々見られる長閑なところでした。昭和四十年末頃から三二開発が始まり、田畑が住宅地に変貌し、人口が急激に増え続け現在に至りました。

当地区は、地区長、副地区長(会計)書記各一名、会計監査員一名(班長から選出)、班長二十四名の

組織で運営しており、毎月十二日には、班長会議を開き、報告事項の伝達、協議等を行い、地区運営の円滑化を図っております。四月には、新旧役員さんによる総会を開き、新年度の活動方針等を決めております。

「廃棄物の処理及び再利用に関する」



防犯パトロール

条例」の施行に伴いゴミ、資源物の分別収集開始から、資源回収団体に登録、毎月、資源回収を行い、かなりの成果をあげております。

平成十五年十一月から週一回ですが、班長さんが責任者となり、当番制で防犯パトロールを実施し、地域全体の安全と防犯意識の高揚に努めております。年間行事の主なものは、春にはお花見、地区住民が一堂に会してコミュニケーションを図り親睦を深めます。春のクリーン作戦参加、年末には地域

内の清掃と多くの方に協力して頂き、街の美化に努めております。初夏には、七十歳以上の方を招待し、ふれあい食事会等を開き、高齢者皆さんの交流を図っております。地区体育祭、防犯訓練への参加、公園の除草等を実施しており、又、子供会についても、少年の健全育成のために、出来る限りの協力をしております。その他、地区同好会として、平成会と、お楽しみ会という、女性たちで組織されたカラオケ会があり、毎月楽しんでおります。

当地区は、先人達の築いた良い伝統を受け継ぎ、市民憲章の実行を目指して、より良い街づくりに努めてまいりますので、尚一層のご協力をお願い申し上げます。

備後田島自治会

会長

鈴木 新吉



私達の地区、備後田島自治会を紹介いたします。

東武伊勢崎線、武里駅東口より歩いて約十分の所にある正善小学校の北側で、東武線と国道四号の中間に位置する約三百世帯の新興

住宅地です。

以前は備後下自治会でした。平成九年に備後下自治会が分割して四自治会になり、備後田島自治会になったのです。自治会が発足して本年度で二十七年目になりました。会長も私で、四代目になりました。

続きまして自治会の年間行事を紹介いたします。



ボウリング大会

末パトロール等があります。一月には自治会新年会、武里東公民館の大会議室を借りて、ビンゴゲームや子供達の輪投げなど行っています。景品などは自治会内の会員から不要になった品物を集めて、再利用して頂いているのです。公民館では、ジュース、お茶等で乾杯して新しい年をお祝いしています。

次に夏祭り備後下地区六自治会合同による納涼祭としてカラオケ大会をメインにして、三回目になり、各自治会の模擬店など正善小学校校庭で八月第一土曜日に行っています。スイカ割りなど子供も大人

も楽しんで過ごします。行事三つ目は、十月中旬に行われます武里地区体育祭には、私共、備後田島自治会も元の備後下地区の代表として、選手はもちろん、役員、応援団も参加しています。第四十三回武里地区体育祭では、総合第二位、地区対抗の紅白玉入れ、第一位、二回戦合計で九十九個入れました。体育祭始まって以来の事だと皆が言っていました。これからも頑張ります。

最後に自治会としての大きな行事は、毎年十月の下旬に行われていますボウリング大会も今年で第六回目になりました。十月二十六日に行いました。パールレーン武里で写真のように子供も大人達も年齢を忘れて頑張っていました。お疲れ様でした。申し遅れましたが、私達の町会は、班長制にして毎月用件を回覧に書いて回しております。三十四班あり、役員も七十五名おります。班長さんは、一年交替でこれからも運営してまいります。今後の課題といたしましては、安全で清潔な住み良い街作りを目標に皆様方のご協力の下に活動し、備後田島自治会に住んで良かったと思われよう日々努力する所存であります。結びになりますが、備後田島自治会の会員及び役員の皆様のご健勝をお祈りし、地区発展のためご協力、宜しく申し上げます。

上蛭田地区

地区長

関根 正



私達の地区を紹介します。南西に下蛭田地区、北東に南中曽根地区の間にある地区です。県道さいたま春日部線を挟んで商店街、住宅が密集しています。豊春駅、豊春小学校を取り巻くような形で地域が成り立っています。ここ何年かの内に大型スーパーが何軒か出来、それに伴ってマンションが出来、マンションの軒数だけでも三五〇戸近くあります。急激に人口が増加し、現在では会員一二九〇戸余りの世帯となりました。豊春駅、豊春小学校が近くにあるので、通勤、通学に時間的に便利な所です。新旧会員とのコミュニケーションを図る為一日も早く会員同士の親睦が出来るように色々努力をしております。



集会所での将棋

ます。

地区の年間行事として次の通り行っています。五月にグリーンデーに参加、役員、組長、班長、会員の皆さんで一時間半位で終わります。夏、冬二回防犯推進委員によるパトロールに参加します。その時に二組に分かれて派出所の署員と一緒にいきます。防災訓練は市よりの連絡に協力、今回は立野小学校で十地区合同で行われ、地区では百名近い参加者がありました。豊春地区体育祭にも、上蛭田、上蛭田西、道順川戸で参加し、反省会では役員、組長、選手の皆さんと親睦を図る為に参加をして良かったと色々話に花が咲きました。又、来年お互いに頑張ろうと約束をして終わりました。十一月に入って防災センターの見学、体験を役員、組長全員二十六名参加をしました。約二時間弱で終わり、組に帰って皆さんと、話が出来れば

幸いと思えます。地区の一番大きなイベントとして行われる、お年寄り七十五歳以上の方を招待して一日カラオケ大会をします。お年寄りの参加者を募るのは地区の民生委員さんに協力を頂き、役員、組長、民生委員で役割を決めて交代しながら一日行います。お年寄りの参加は四十名前後、カラオケをやる会員は四十五名位で皆さんで色々な、お話を一緒に食事をして、参加して良かったと喜んでいました。今年から始まったふれあい生き生きサロンが発足しましたが民生委員さんの協力を得て地区では五つのサロンが出来、多い所で二十名前後、少ない所で十名前後、毎月、日を決めて、午前十時から十二時まで二ヶ所の集会所で協力員と会員の皆さんで仲良く話し合い、時間を過ごします。その他、ハイキング、囲碁、将棋、お茶飲み会、踊り、手芸、カラオケなども行っております。これからも役員一同協力をし、会員皆様と親睦コミュニケーションを図りながら住み良い地区にしていきたいと思えます。今後とも頑張りたいと思えます。



小淵観音前自治会

会長

石塚 貞一



私達の住む、小淵観音前自治会は、南に春日部市街、北には杉戸町が在り、当地区の真ん中に、国道四号が通る小さな自治会です。平成十五年四月一日より、地区名を変えて小淵観音前自治会にしました。小さな自治会ですから、戸数は、一七四戸程で、役員さん六名、組長さん十一名にて運営をしています。小淵地区は六地区あり、南から松河町、追分地区、本村地区、観音前自治会、島自治会、原前地区からなっています。

自治会の事業としては、毎年春の「大杉神社の祭礼」で始まり、春・秋の「春日部グリーンデー」七月に入ると「春日部夏祭り」にも参加しています。また、八月の子供達の夏休み中には梅原病院の協力により職員駐車場をお借りして「ふれあい広場」を開催しています。今年で十三回になりました。平成三年に始めた頃は、参加者も少なく寂しい時もありましたが、最近は年々増えて二百人以上の人



ふれあい広場

が参加してくれるようになりまし
た。「ふれあい広場」では、トイレットペーパーの巻き取り競争、女性によるオカリナ演奏、クイズ、最後には、大抽選会が行われます。又、役員さん、組長さんによる手作りの飲み物、焼肉、焼きそば等のコーナーもあり、参加者に喜ばれています。この、ふれあい広場は当自治会の輪を広げる為に、前地区長の小谷野庄平氏の時に始めた行事です。これから先も自治会の人達全員で、協力して続けていきたいと思っております。当自治会では特に、自主防災組織の整備と資材の保管のため中古のコンテナを購入し、防災器具収納庫として利用しています。最後になりますが、春日部市に対する協力として、古利根川の清掃、幸松地区体育祭、文化祭、防災訓練にも参加協力しております。

中野地区自治会

会長

栗原健寿



私達、中野地区自治会は、武里地区の西の端にあり、武里小学校とウイングハット春日部の中間にある地域で、もともとは、四十戸程度の純農村でありましたが、近年人口の急増に伴い市街化調整区域にも拘らず、現在では三四〇戸と、約三十年間で八倍近くに急増しました。しかし、今でも環境は良好で西の空には秩父連峰や富士山を見ることができ、市民の散歩コースとして貴重な環境だと思っています。

自治会の組織編成は地域内を東一、東二、西、南の四地区に分け、それぞれ約一〇〇戸に副会長、会計、幹事、監査を配し、十三名の役員と三十八班の新旧班長によって組織を作り、自治会の運営を行っております。

年間の主な行事としては、四月に通常総代会を開催し前年度の事業報告収支決算、新年度の事業計画、収支予算等の審議し、承認を戴きます。六月には例年春のクリ



中野香取神社の祭礼

ンデーを実施し、全戸参加を得て、地区内の一斉清掃を実施しております。最近では、空き缶のポイ捨て等、道路、河川に投棄されるゴミが非常に少なくなりました。これには理由が有りまして、当地区のクリーン推進員の刀禰力夫さんが、ボランティア活動として、ここ十年來毎日地域内の道路、水路に捨てられた空き缶、ゴミはもとより河川に棄てられた自転車、バイク等の引き上げ収集、雑草の刈り取りを実施しており、家具家電等の不法投棄物等についても収集して、市のクリーン推進課と連絡を密にし処理をしている為、モラルの向上に繋がりがゴミの減少になったと考えます。刀禰さんのゆるまぬ努力に対し、地域を代表して心から感謝と敬意を申し上げます。七月には中野香取神

社の祭礼に合わせ、氏子会、子供会、長寿会、平成会等、地区内各種団体の協力のもと、子供神輿を中心に模擬店等を開いて、老若男女、故郷づくりと親睦と連帯を深めております。十月には、中野、薄谷地区合同の防災訓練を開催し、災害対策室と消防本部のご指導の下、非難誘導、通報、消火、応急手当等の訓練を実施し、災害に遭遇した場合の心構えを高めました。又、恒例の武里地区体育祭の参加については、中野、薄谷の合同チームで参加して大いに頑張りましたが少子高齢化の影響で選手の選考に苦労しております。特に対抗種目の選手については、年齢制限があるため、小・中・高校生の参加が不可欠な為、クラブ活動、少年野球等との兼ね合いから非常に苦労をしております。勝ち負けは度外視して一日楽しく過ごし親睦が図られれば意義あるものと考えますが、体育振興委員さんのご苦労をお察しいたします。以上、中野地区自治会の活動状況の概要について申し上げますが、現在の自治会組織は、ややもすれば行政の末端組織としての仕事が多く本来は、地域住民の為の福祉の増進と親睦、共生の精神の組織であるべきと考えます。



そうめん流し

三本木自治会は、藤の牛島駅よりの古利根川沿いにあり、三本木公園は、花見で年々賑わっています。自治会としては、春は花見、夏は、公園から香取神社までのウォーキング、竹によるそうめん流し、新じゃが掘り、秋には、芋煮会と、すべて古利根川の公園を利用していきます。しかも、私たち自治会は、班長及び役員を中心として、子供達と地域のお年寄りとの



三本木自治会

会長

高橋栄二

ます。

コミュニケーション及び応援を目的として、今活動中です。十一月には、歩こう会も発足しました。また、毎年、防災訓練、お年寄り食事会、住民全員による三本木公園の清掃を行っています。また、旧農家の方たちによる、初午や、五穀豊穡や家内安全を祈る、ハメートルぐらいある数珠で行う百万遍は、江戸時代から行われております。ゆりのき橋は、私たちの地区にあり、開通が待たれています。また、それによる不安もあり、安全な街づくりや、増えていく住民とのコミュニケーションも、今後の課題として残されています。





チャリティ餅つき大会

中央一丁目町会

会長

村田 勸



中央一丁目町会は、春日部駅西口の区画整理地区で、先輩達の強い熱意により昭和四十六年七月に組織され、今年で、三十四回目の総会を積み重ねる事ができました。創立当時の西口は一年前に市役所が移転したばかりの、草などが背丈ほど生い茂っている静かな環境の町会でした。当時は会員親睦を主体とし、子供会、婦人会、商店会などが一緒になって、芋掘り、バス旅行、夏祭り子供御輿等を行

っておりました。子供御輿パレードは現在も四町会合同で行っております。ところが、駅西口が開かれると町環境が激変し、銀行、郵便局、イトヨーカードーなどができ、バー、キャバレーなど都市型の町になってしまいました。過去を紹介しようと、ストリップ劇場を作るといふ事で近隣に同意書を求めに来たとき、町内主導で反対運動を起し、市役所、警察、新聞などを巻き込み断念させました。このような事から西口の交番設置にしても署名運動を起し、一年余りで開設にこぎつける事が出来ました。また、数年前では、地下鉄七号線支線誘致運動を起し、埼玉県庁に署名簿を提出し誘致要望をお願いしました。このとき県の応対は地下鉄が無理であっても、なんらかの新交通システム(路面電車)を整備したい旨の発言があり、「春日部市全体の運動として起してくれると県でも積極的になれるのですがね」と言っておりました。

当町会は、春日部市の中心地にある為、商店会と町会は切っても切れない関係にあります。毎月第一日曜日の歩行者天国とフリーマーケット開催に協賛しております。春日部中学校の生徒による吹奏楽部のパレード、そしてチャリティ餅つき大会、いずれも大変な賑わいを呈し、そのチャリティ資金を、社会福祉や交通遺児に寄付をしております。地域住民の楽しみの一つとなつたフリーマーケットも残念ながら平成十五年九月の第一日曜日まで中止になりました。数年間、愛して頂きまして有難うございました。今年の行政懇談会で、中央一丁目町会の区域の治安が悪化しているの、防犯カメラを設置したいが、補助金とメンテナンス等を助成してほしいと要望したところが、行政で、春日部駅周辺に七ヶ所全体で十ヶ所設置することが、議会で議決されたことが報道され、町内一同大変喜びました。地元町会を思い、コミュニティを意識し、より良い生活を作り上げていくのが、中央一丁目町会の役割であると感じて日々を活動しております。



ルネ春日部自治会

会長

宗形 隆 昭

ルネ春日部自治会は、平成十一年五月に設立いたしました。道口蛭田地区自治会の中に存在してまいりました。ルネは中高層住宅十棟で構成され、日常の自治会活動は、独自に活動しているところから、平成十四年十一月一日付で分割の申請を出し、平成十五年四月一日をもって分割が承認されました。ルネ春日部自治会は、毎月一回定例会議を開催して報告事項と審議事項を行っております。また、管理組合三役と自治会四役とで、毎月一回打ち合わせを開催して、情報交換や協議事項を行って、ルネ春日部の向上と問題解決に、車の両輪となって取り組んでおります。自治会の永遠の課題であります「ゴミ出し」については、回収日の当日、朝出しを徹底しております。しかし、時には立番・見回りをせざるを得ません。年間行事は、夏祭り・敬老の集い・体育祭・文化祭・クリスマス会を行っております。夏祭りは、管理組合と共催で、八月下旬の土・日の二日間行いま



ルネ夏まつり

す。夏祭り実行委員会を設立してその中から、運営委員を指名して企画立案します。祭りの三日前から盆踊りと子供太鼓を練習して当日に備えます。模擬店十店は全て自前で用意します。子供山車・子供御輿・大人御輿を出します。敬老の集いは、九月上旬に、七十歳以上の方を、お招きして、食事会・ゲーム・演芸・カラオケ等を行っております。豊春地区体育祭は、去年は、ルネ春日部自治会独立後、初参加となりました。十一名の選手を送り出し、紫チーム三連覇を狙いましたが、惜しくも準優勝でした。文化祭は、十月下旬の土・日の二日間行います。ルネ春日部居住の子供さんから高齢者の方々に、書・絵画・写真・手芸等、各分野で作品を出展してもらい展示します。当日は、朝市・バザー・お茶会・芋煮会・演芸等も行います。クリスマス会は、十月下旬に、子供達と、七十歳以上の方でゲーム等を行い楽しんでまいります。ちなみに、敬老の集いと文化祭には、私は、つたない芸ではありますが、落語を演じております。以上で、ルネ春日部自治会の紹介を終わります。



東町町会

会長

関根 良夫



東町町会は、国道四号を挟み、北は、粕壁小学校と県立春日部女子高校を結ぶ学校通り、南は、東武野田線の南側を並行する通称土井堀通りに囲まれた地域にある。昭和二十年代初め頃は粕壁町としては稀な唯一大規模の「ライト自動車工業」（いすゞ自動車系列）が町内にあり、トラックの生産をしていた。その工員や春日部女子高校生徒等の為、国道四号をまたぐ、東武野田線陸橋脇に「土井駅」は開業していたが工場の閉鎖に伴い廃止された。

当町会は、「新々田（現一宮町町会）」より、終戦後分離独立した。発足時は僅か五十世帯強の町会であったが、町内面積の約八割強を占める工場跡地・田・畑に対し、昭和四十年代後半から五十年代にかけて戸建ブームに乗り宅地造成が急速かつ大規模になされ世帯数は、飛躍的に拡大し、五十年代半ばには五百四十世帯、そして現在は、七百七十世帯強で、発足時の十五

倍以上となっている。

当町会は、会員全員の賛同協力により平成七年六月、地縁団体として法人化が認可され、その後、土地取得、町会会館の建築に取り組み、平成九年十一月に会館が落成、会員の永年の要望を達成した。

町会は会長、副会長、相談役、監査及び二十七名の理事と十六名の組長に婦人会会長、育成会会長が役員として運営の中核となっている。理事は、「総務・祭事・防災・広報・体育・環境・会館」の七班のいずれかに属し、各々班長を中心に担当部門の企画、立案をなし、町会運営、行事等の核として活動する仕組みとしているが、体制発足三年目を迎え、根付く迄には、尚年月を要するものと思われる。町会行事は「新年懇親会・古利根川土手の清掃・春のクリーンデー・市民夏祭り、夏休み補導巡回・防災訓練・市民体育祭」等



防災訓練

また育成会が主体となって、「一年生を迎える会・小学生からの夏祭りポスター募集・展示・粕壁地区ちびっ子ソフトボール大会（平成十五年度は準優勝）夏休み朝のラジオ体操・六年生を送る会」等がある。

最後に当面の課題として新規加入会員、子供達の町内行事への参加、子供達に如何なる故郷造りをし、郷土愛をもたせるか、一方では高齢者世帯は増加の傾向にあり、安全な住みよい街造りをどう進めるか等々、問題は山積しているのが現状である。

内牧四区地区

地区長

松本 清二



私たちの内牧四区地区は、県道春日部菖蒲線の両側と、その東側に位置し、北春日部駅西口より西へ約一・五キロの区域内にあります。四方谷自治会、戸崎自治会、日和会自治会と三つの自治会の連合体を内牧四区地区といえます。昭和四十年頃までは五十戸程でしたが、昭和四十六年頃より栄町の区画整理が始まり水田も宅地化さ



地区体育祭

願お祝いする事を氏子会にて継承しております。

自治会の行事としては、一月は新年会、四月総会、春のクリーンデーは全世帯が出て、区域内のビン、缶などのゴミ拾いに参加しています。七月は、他の地区と合同にて内牧地区として夏祭り参加、三十回を数えるまでになりました。皆様のご寄進ご支援に御礼申し上げます。関係役員事務局及び同士の皆様のご協力に感謝しております。又、十月は内牧地区体育祭があり、その準備、又、選手の選考など大変な事ですが、体育振興役員を中心に全役員協力し準備します。そして自治会としては、全世帯が当番、役員、選手のいずれかに参加するように呼びかけ、参加して頂いております。そして、一緒に汗を流し心の交流を深め、地域住民が親睦を図る場となればと頑張っております。又、防災訓練にも、いつも参加し、災害に備えて、備品等備えてあります。

れ、その頃より当地区の戸数も増え現在自治会員二百三十世帯となつております。春日部菖蒲線を北に向かつて栄町を過ぎ、戸崎地域の中程に、内牧鷲香取神社があります。神社由来記によると、「仁和年間西暦八八五年の頃より香取神社ありし由とある旧内牧村の総鎮守あり」境内に繁る樹齢数百年を経たる銀杏榊杉の木立が昔を偲ばせます。総代世話人さんが中心になり氏子会を継承しご加護を頂いております。大祭の七月十八日は神楽があり、屋台の出店あり近隣の町からも参拝客で賑います。二月十七日春季祈願祭、十一月二十三日献穀感謝祭など、又、四方谷地区には四方谷不動尊があり例祭は、年一回、二月二十八日と七月二十八日御神酒を奉納し、五穀豊穰、家内安全を祈願お祝いします。すべて氏子会ですが地域の歴史であると想いあえて記しますが、下谷稻荷社の礼祭二月初午の日に祈

四区内のクラブは壮年ソフトボール・ママさんバレーボール。各自治会のクラブはゴルフ・カラオケ等があり、それぞれのクラブに協力を惜しみません。そして、魅力ある地区として、若い人達も喜んで参加してもらえる自治会を目標に頑張っております。会員皆様のご指導ご協力をお願い申し上げます。

武里団地五街区地区

地区長

松井和夫



東京からは、最も近い、春日部市の南の玄関口とも言える武里団地。その南端に、私達の地区、五街区があります。総数六一〇〇余世帯で、当時、日本のマンモス団地の中、唯一、分譲である五街区の世帯数は五六〇世帯。昭和四十二年八月入居と同時に武里団地自治会五街区支部としてスタートしました。しかし、五年から十年と子供達が大きくなるにつれ、除々にお祭りや運動会等の、諸行事に興味を示さなくなり、五人去



五街区祭り

り十人去りで会員が少なくなつてしまい、私自身もその一人でした。諸先輩の話によると、何とか自治会五街区支部を残そうと努力したのに、会費収入の割りに出費が高むと言う事で団地自治会から一方的に除名されてしまったそうです。それならば、お祭りだけでも我々五街区だけで続けようという事になりましたが、運動会だけはお願いして、参加させてもらいました。但し五街区用の賞品は無く、五街区の参加者には五街区で用意した賞品を渡す、言わば、部外者が勝手に参加しているという、実に惨めなものだったそうです。五街区独自の五街区祭りの企画は勤め帰りの有志数名が、毎晩集まり二ヶ月余りで、手作りで御輿と山車を造りあげ、立派に五街区一周パレードを行いました。今でも御輿と山車を使っています。また、資金面では五街区管理組合からの助成金と、一部有志の寄付金だけでは足りません。そこで、毎月、古紙回収を実施し、市からも助成金を頂けるようになり、どっにか運営できるようにしたそうです。毎月第一日曜日に、リヤカーを引いて各階段を回って集めました。この頃から、新たに協力者が増えてきました。永年続いている五街区恒例の催し物として、春の「日帰りバス旅行」または「ハイキング」夏の「五街区祭り」同、八月

最終土曜日「さようなら夏休み子供花火大会」十二月には「バザーと餅つき」が有ります。春の旅行は、古紙提供の一部還元で割安料金とし、十二月のバザーの売り上げは、全額、社会福祉協議会に寄付しております。当初は子供達のための行事としての催しでしたが、当時二十〜三十代のお父さん・お母さんも、今では六十代のおじいちゃん・おばあちゃんになっていきます。三年前から、八月の子供花火大会に盆踊りが加わり、じいちゃん・ばあちゃんに孫がついて踊る賑やかな催しとなっています。又、ジュースの他にビールやおつまみも売られるようになり、十二月の餅つきも、年々つき手不足で苦労するようになってきました。とは言え、今となれば楽しい思い出であり、皆様のご協力を得て危機を乗り越える事が出来たと思っています。地域活動に対して我々はまだまだ現役であり、現在も新たな協力者が増えてきています。本当に心強い限りです。年々催事のときに集まるお孫さんが増えるのも、誠に嬉しい現象です。まだまだ頑張りましょう。宜しくお願ひします。



樋籠柳原地区

地区長

後藤勇



私達の樋籠柳原地区は、南には県道春日部西金野井線を前に、北は国道一六号線にまたがり、極めて交通の便利な所です。しかし、大雨や台風の際は水害に悩まされる水により悩まされ、雨が降る度に、全員に声を掛け水番をしておりました。現在は、外郭放水路が出来ました事で、とても助かっています。さて、私達の自治会の一年間の行事を紹介します。



コスモス花見会

天神社は、学問の神様で春・秋に年二回の祭典を行っております。春の祭典は、五穀豊穡と家内安全祈願奉納、秋の祭典は収穫を感謝する祭りとなっております。一、大晦日から正月にかけて破魔矢売り。一、元旦には、七十五歳以上の方に昭和の終わり頃から長寿の祝いを致しております。一、新年会は一月第二日曜日に行っています。一、五月のクリーンデーには、クリーン推進委員を中心にゴミ拾いを行っています。一、春・秋の交通安全週間に参加警察よりのご指導で行っています。一、防犯推進委員が、夏・冬二回牛島交番警察官の指導で行っています。一、コスモス花見会、十月下旬、パーベキューや米のすくい取り。十二月は、お正月をきれいに迎えるために、昭和の終わり頃から前地区長さんの頃より缶拾いを行っております。また、幸松地区自治会連合会で発表したところ、これは良いことをやっているとの事で、現在、幸松地区でも、十一月にクリーンデーをやるようになりました。今後、地区発展のため、皆様のご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

豊春地区の紹介

豊春地区自治会連合会は、25の地区、自治会で構成し、会員数は、11,959世帯である。役員は、会長はじめ、副会長1名、事務局長1名、会計2名の他、体育部長、防災部長、環境部長、福祉部長の各部長と、監事2名で構成している。会議は4月の定期総会の他、毎月第3土曜日に、定例会を開き、連絡、報告事項の徹底を図るとともに、諸事業遂行のための審議と、各地区、自治会との提携、親睦の場としている。また、必要に応じて、適宜三役会も開き、会運営の円滑化を図っている。

会の事業は、地区別行政懇談会、体育祭、防災訓練、春秋のグリーンデー等の運営実施とともに、毎年、秋の研修視察旅行、1月の賀詞交歓会を兼ねた市政研修会を実施し、会員の見聞を広め、親睦を図るとともに、各地区、自治会との情報交換の場ともしている。また、消防団第八分団、老人会、婦人会などの地区内諸団体に対し、助成金を拠出して、その活動を助成したり、公民館と協力して、毎年「しめ縄づくり」や「昔の遊び」の催し物を行い、地域との連携強化にも努めている。その他、社協豊春地区支部、地域防犯連絡協議会、青少年健全育成推進会議等の諸団体とも連携し、安心して暮らせる住みよい街づくりを目指している。これからも、各地区、自治会の活動を、より一層強化し、会員数の拡大に努力し、住みやすく活力のある地域社会づくりを目指して活動を続けていきたいと考えております。

豊春地区自治会連合会 会長 板橋光二

《豊春地区自治会連合会》(25自治会等)

谷原中央自治会	板橋光二
谷原一丁目町会	柳澤一重
谷原二丁目町会	黒田一穂
谷原三丁目町会	萩原清
大沼ゆりの木自治会	松宮正幸
下谷原地区	田嶋芳雄
上大増自治会	中山光男
下大増地区	白倉善雄
豊町自治会	伊藤和夫
豊町東地区自治会	伊藤富也
豊町西自治会連合	清水三郎
豊町南立野自治会	三澤 顕
増富地区	石塚慶雄
増富東地区	八代倉松
増戸地区自治会	小暮忠夫
上蛭田地区	関根正
上蛭田西自治会	吉田敏雄
下蛭田自治会	隅田誠
花積地区	田辺武
花積西地区自治会	小林永三郎
道口蛭田自治会	中村博
ルネ春日部自治会	宗形隆昭
南中曽根地区会	遠藤和夫
宮川自治会	川口睦
新方袋連合自治会	栗原榮一

役員視察 研修会報告

去る平成十五年十一月二十日、長野県須坂市の「みどりの会」を視察研修いたしました。

この会は、環境問題に積極的に取り組むため、平成十一年七月に設立されました。現在の会員数は、個人会員三十名、法人会員二社となっております。環境を重視する消費者としてゴミの減量、清掃美化、植樹等幅広い環境問題についての活動を行っております。

内容は、各種環境問題に関する情報の提供や研究及び講習会の実施、イベントの開催 そのほか植樹や清掃美化運動などに参加・実践しております。

最近の取組みとしては、生ごみを燃やさない運動として、新聞紙と



たまねぎの袋で堆肥を作ることや、段ボール箱で生ごみを処理することを実践しております。

今後の課題としては、生ごみの堆肥化により、おいしい野菜を消費者へとつなげる環境の輪を構築するための意識を変える活動を継続して行くことと、会員の皆さんは意気込んでおります。

編集後記

三月に入り、草花がほころぶ季節となりましたが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。最近、子供たちを巻き込む犯罪が多発しております。地域で子供たちを守り、安心して暮らせる社会を築けるよう、自治会運営に取り組んでいきたいと思っております。皆様のご協力をよろしく願いたします。

編集委員氏名

- 会長 時田 美野吉
- 副会長 上野 照信
- 副会長 上原 光孝
- 副会長 板橋 光二
- 副会長 石島 忠夫
- 副会長 板倉 肇

発行日 平成十六年三月一日
 発行者 春日部市自治会連合会
 事務局 春日部市役所自治振興課内
 ○四八七三六〇一一一